

平成19年11月16日
環境教育WG事務局

環境教育ワーキンググループの活動について（案）

1 第1回WGについて

前回のWGでは、「活動方針」や「実施体制」及び「アンケート調査の実施」に係る意見交換が行われ、次のとおり確認されたところ。

(1) 活動方針

環境教育WGは、以下の3つを主な目的として活動する。

釧路湿原周辺の学校等における環境教育に係る情報の収集

それらに関する、関係者間の情報共有

学校等における環境教育の推進方策の検討

なお、環境教育の対象や場は広汎で多岐にわたるが、学校教育との連携への関心が高いこと及び社会教育に関しては、行動計画WGである程度の状況把握や情報共有が進みつつあること等から、当面、学校における環境教育の推進を優先的に検討し、その成果を踏まえて社会教育等への展開についても検討する。

(2) 実施体制

環境教育WGは、再生普及小委員会構成員（希望者）、教育行政関係機関、関係行政機関で構成し、事務局は環境省釧路自然環境事務所が務めることとする。また、活動状況は随時、再生普及小委員会に報告する。

なお、具体的な推進方策を検討していくに当たっては、必要に応じて学校教員等の参画を要請する。

(3) アンケート調査の実施

学校等における湿原をテーマとした環境教育については、その実施状況や意向、必要条件等が明らかではなく、その推進にあたり、現状や課題等の基礎的情報の把握が必要であることから、釧路湿原周辺の学校に対して、これらに関するアンケート調査を実施するとともに、関係機関での取組み状況についても調査を実施する。

なお、調査結果については、環境教育WG及び再生普及小委員会等で共有するとともに各主体の活動に活用する。

調査対象

釧路湿原地域市町村（釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村、釧路市）の学校、釧路湿原自然再生協議会団体構成員、オブザーバー、関係行政機関

調査内容

教育活動の実施状況、湿原をテーマとした環境教育の実施意向、必要条件、支援要望、モデル的な授業実施やプログラム作りへの協力意向、

他

調査実施者
環境教育WG

2 アンケート調査の結果について

詳細は別添のとおりであるが、多くの学校が環境教育を実施しており、そのうち、少数ではあるが体系的に取り組んでいる事例が見られた。

3 今後の取り組みについて

(1) 環境教育事例集(プログラム集)の作成

アンケート調査の結果、湿原を題材とする環境教育に取り組んでいる学校の存在が把握できたことから、これらの実施状況を具体的に把握し、事例集にとりまとめる。とりまとめにあたっては、専門家の協力を得て、学校現場で活用可能な内容、形式としていく。

なお、事例集は環境教育WG等で情報を共有するとともに、今後の取り組みに活用をはかっていく。

(2) 学校における環境学習の推進

(1)の事例集を圏域の学校や関係機関等に配布するとともに、WEB等も活用して発信し、普及を図る。あわせて、学校での活用に向けた継続的な働きかけや可能な範囲で導入に向けたコーディネートを行っていく。

また、引き続き、釧路湿原圏域での環境教育活動に関する情報共有を進めるとともに、推進方策を検討していく。

4 スケジュール(経過と予定)

平成19年8月21日	第1回環境教育WG開催 活動方針の検討、共有 アンケート調査の検討
9月～	調査の実施・結果集計
11月16日	第2回環境教育WG開催 調査結果の共有 調査結果を受けた今後の取り組みの検討
11月16日以降	具体的事例等の把握 環境教育事例集(プログラム集)を作成